

有機農業推進アドバイザー制度実施要領

平成22年5月21日 22農技第110号農政部長通知
一部改正 平成25年5月20日 25農技第204号農政部長通知
一部改正 平成30年6月7日 30農技第165号農政部長通知
一部改正 令和2年6月22日 2農技第158号農政部長通知

1 制度の目的

長野県では、平成21年12月に策定した「長野県有機農業推進計画」を、平成30年4月に「第3期長野県有機農業推進計画」に改定し、有機農業を環境への負荷を低減する「環境にやさしい農業」の取組みの一つとして位置付け推進を図っている。

しかし、有機農業は個々のほ場の環境条件に応じたきめ細かな栽培技術が必要であり、知識や経験等を含め普遍的な技術として体系化し普及することが難しいことから、有機農業の先進的実践者を「有機農業推進アドバイザー」として登録し、有機農業を志向する者等（以下「支援対象者」）からの相談に対応できる体制を整備する。

2 制度内容

(1) 有機農業推進アドバイザーの登録

有機農業の先進的実践者を、農業農村支援センター技術経営普及課との連携及び有機農業技術の地域性等を考慮し、有機農業推進アドバイザーとして登録する。

(2) 有機農業推進アドバイザーの役割

支援対象者からの相談に対し、農業農村支援センター技術経営普及課からの要請に応じて支援対象者へ助言を行う。

(3) 有機農業推進アドバイザーの要請・活動方法等

ア 有機農業推進アドバイザーへの要請窓口は、農業農村支援センター技術経営普及課(有機農業担当者)とする。

イ 支援対象者から相談を受けた農業農村支援センター技術経営普及課は、有機農業推進アドバイザーによる支援が必要であると判断した場合に、有機農業推進アドバイザーを要請する。

ウ 要請する有機農業推進アドバイザーは、相談内容や品目に応じ、農業農村支援センター技術経営普及課において選定する。その際、要請される者の負担とならない範囲で、管轄地域を越えてもよいものとする。

エ 有機農業推進アドバイザーは、課題により他の有機農業実践者が適任と判断した場合は、他の有機農業実践者を紹介することができるものとする。(以下、「紹介者」という。)

オ 農業農村支援センター技術経営普及課は、有機農業推進アドバイザーまたは紹介者(以下、「有機農業推進アドバイザー等」という。)を要請する場合は、支援対象者と相談の上、事前に「有機推進アドバイザー等活動要請計画書」(別紙様式1)を作成し、農業技術課に提出する。

カ 農業農村支援センター技術経営普及課は、有機農業推進アドバイザー等の活動に同行するものとする。

キ 農業農村支援センター技術経営普及課は、有機農業推進アドバイザー等を要請し、支援対象者に対して活動を行った場合は、活動終了後に「有機農業推進アドバイザー等活動実績報告書」(別紙様式1)を作成し、農業技術課に提出する。

(4) アドバイザー等への報償

ア 県は有機農業推進アドバイザー等に対し、活動時間に応じて予算の範囲内で報償を支払うこととする。

ただし、支援対象者が同一の有機農業推進アドバイザー等に、同様な内容で継続して相談する場合には、報償の支払いは初回のみとし、以降は支援対象者の負担とする。

イ 農業技術課は、農業農村支援センター技術経営普及課から提出のあった「有機農業推進アドバイザー等活動実績報告書」を確認の上、有機農業推進アドバイザー等に対して報償を支払う。

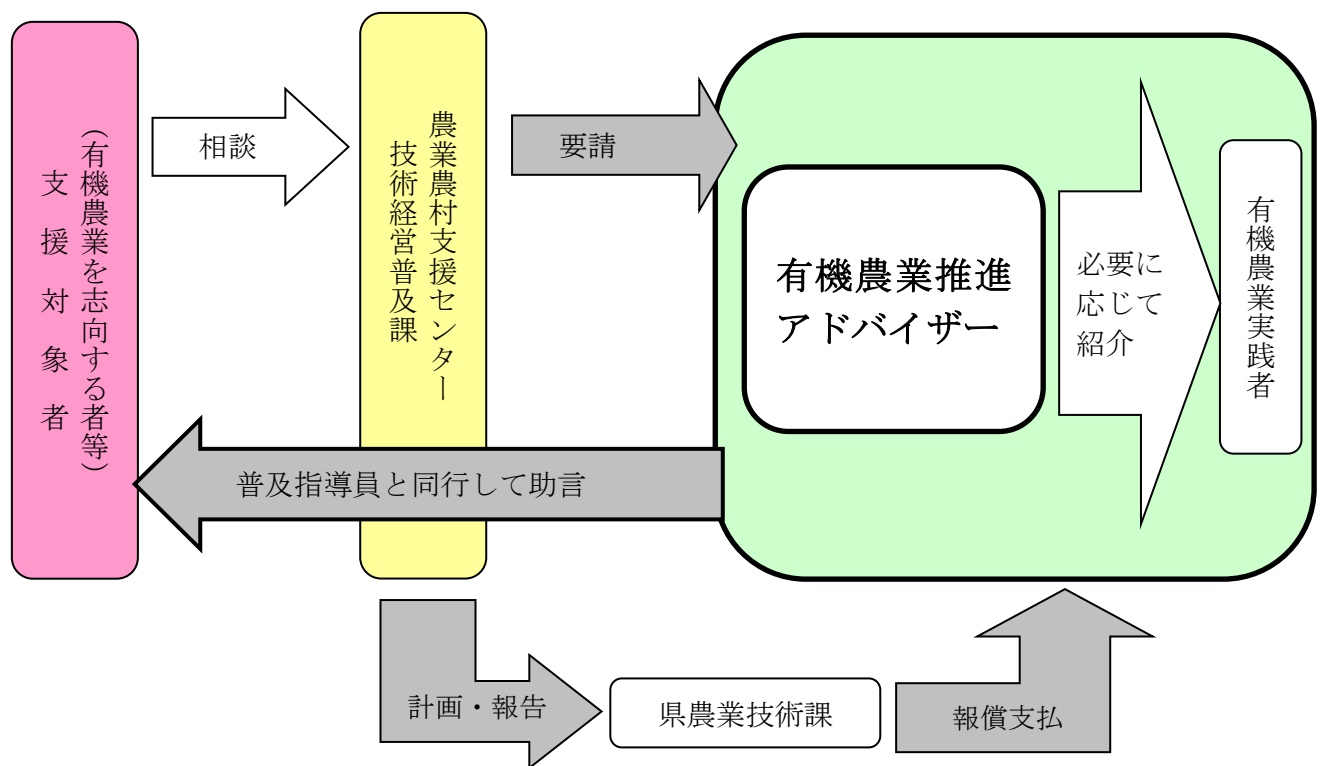
(5) 留意事項

有機農業推進アドバイザー等の助言に対する実践は、助言を受けた支援対象者本人の判断によるものとする。

3 支援対象者

長野県内において、「業」として有機農業を実践する者または目指す者であること。

4 制度イメージ



(別紙様式1)

有機農業推進アドバイザー等活動要請計画書
(有機農業推進アドバイザー等活動実績報告書)

年 月 日

農 政 部 長 様

〇〇地域振興局長

以下のとおり、有機農業推進アドバイザー等を依頼したいので計画書を提出します。
(以下のとおり、有機農業推進アドバイザー等を依頼したので報告します。)

項 目		備 考
年 月 日		
時 間		
アドバイザー等名		
支援対象者名		
内 容		
今後の指導予定等 (※実績報告時のみ記入)		
農業農村支援センター 技術経営普及課 担当者	確認印 (※実績報告時のみ)	

※ 助言に当たったアドバイザー等の口座振替払申出書を添付すること(実績報告時のみ)

<記入例>
(別紙様式1)

有機農業推進アドバイザー等活動要請計画書
(有機農業推進アドバイザー等活動実績報告書)

年 月 日

農 政 部 長 様

〇〇地域振興局長

以下のとおり、有機農業推進アドバイザー等を依頼したいので計画書を提出します。
(以下のとおり、有機農業推進アドバイザー等を依頼したので報告します。)

項 目		備 考
年 月 日	平成 30 年〇月〇日	
時 間	10:00~12:30 (2 時間 30 分)	
アドバイザー等名	長野 太郎	〇〇アドバイザーからの紹介
支援対象者名	環境 次郎	
内 容	<p>〇有機農業を始めて〇年であり、水稻雑草・病害対策について防除が上手くいかないため、アドバイスを受けたい。</p> <p>〔</p> <p>〇水稻の雑草対策について</p> <p>・△△が多発しており、収量への影響が心配されたため、農薬を使わない効果的な△△駆除対策について、支援者のほ場を観察しながらの助言を依頼した。</p> <p>〇水稻の病虫害防除について</p> <p>・今後の□□病対策として、効果的な栽培方法等について助言を依頼した。</p> <p>※出来るだけ、詳しく記載願います。 その他、助言に対しての支援対象者の反応（満足度）などについても記載してください。〕</p>	
今後の指導予定等 (※実績報告時のみ記入)	〔 <p>〇雑草△△については、助言を踏まえた対策を行うほか、今後の発生状況について把握していく。〕</p>	
農業農村支援センター 技術経営普及課 担当者	技師 信州 三郎	確認印 (※実績報告時のみ)

※ 助言に当たったアドバイザー等の口座振替払申出書を添付すること(実績報告時のみ)